

自由で気まぐれで最強にかわいい子どもたちとの奮闘の記録とスーダン暮らしのいろいろ



vol.1

Letter from SUDAN

الرسالة من السودان



2017.12.3 結婚式にて。男性席でくつろぐお父さんがた。

1 はじめまして

アッサラームアライクム！（こんにちは）青年海外協力隊2017年2次隊、青少年活動・千頭佐和子です。

スーダン共和国の首都ハルツームの青年スポーツ省に所属し、ユースセンターを巡回しながら青少年にスポーツ振興を行う活動をしています。

日本で「スーダン」といえば、自衛隊がPKO派遣された「南スーダン（2011年にスーダンから独立）」の印象が強いと思いますが、スーダンでも2005年まで内戦を行っていました。穏やかで明るいスーダン人から「戦争」を感じることはほとんどありませんが、長い間閉鎖的な環境だったことから、スポーツにも様々な格差が存在しています。

このレターではスーダンでの出来事や感じたこと通して、みなさんの中のスーダンやアフリカのイメージが少しでも身近なものに変わってくれたらいいなと思います。

2 スーダン共和国について

北アフリカに位置し、エジプト、リビア、中央アフリカ、チャド、南スーダン、エチオピア、エリトリアの7つの国と国境を接し、東側は紅海に面しています。面積はアフリカ3番目で日本の約5倍。（南スーダンが独立した2011年までは1番でした）

アフリカ大陸の10分の1を流域面積とする大河・白ナイルと青ナイルが首都ハルツームで合流します。

また、第一次(1955～1972)、第二次(1983～2005)、ダルフール紛争(2003～)と長い間内戦が続いており、首都や地方都市は比較的安全ですが、国境付近や紛争地など、行けない地域もたくさんあります。

宗教はエジプトから持ち込まれたイスラム教が国民的の約70%を占め、いたるところにモスクが配置されています。モスクからお祈りの時間を知らせるアザーンが早朝から1日5回響き、街角では人々がメッカに向かってお祈りをしています。

【位置】



【情報】

面積	188万平方キロメートル
人口	4,023万人（2015年）
首都	ハルツーム
公用語	アラビア語
宗教	イスラム教、キリスト教、伝統宗教
通貨	スーダンポンド
人種・民族	アラブ人、ヌビア人、ヌバ人、フル人、ベジャ人等

国土面積は日本の約5倍ですが、人口は3分の1です。

※外務省ホームページより引用

3 スーダンのスポーツ

スーダンは砂漠気候のため、とても乾燥しており、夏は気温50度、短い冬の間でも日中は30度を超えるため、あまりスポーツに適した気候ではありません。グラウンドがない小学校も多く、体育の授業のない学校がほとんどです。

私が活動を行なっている「ユースセンター」は首都ハルツームの各地に設置されており、地域の公民館的な施設で、体育館やプール、コート、ジムなどがあり、子どもから大人までスポーツを楽しんでいます。

しかしながら、ユースセンターに集まる子どもたちは大半が男性・男の子です。女性・女の子はスポーツに積極的でないことが多く、そこには、男女が接触してはいけない、肌や髪を見せてはいけない、などの宗教上の理由や、女の子がスポーツをするなんてふさわしくない！という文化的な考えがあり、選手だけでなく女性の指導者もほとんどいません。

私が協力隊に応募した最大の理由は、どこでも誰でも当たり前にはスポーツのできる環境を作りたい、ということでした。その一歩目として女子生徒へのスポーツ振興を目的に、小学校でバレーボールの指導を始めました。（一般的な小学校は男女別になっています。）

はじめはボールを投げることもままならない生徒や、自分勝手な行動をとってしまう生徒もいましたが、回数を重ねるにつれ、相手が受けやすいようなボールを投げられるようになるなど、体の使い方だけでなく、少しずつ相手のことを思いやることのできているように感じます。

残念ながらサッカーは男性・男の子のスポーツというイメージが強く、この学校では受け入れられませんが、学校側が校内の広場に棒を立てて手作りのバレーコートを準備してくれるなど、スポーツに対する理解と協力を得ることができました。

このように、女性・女の子のスポーツに対して保守的なスーダンの中でも、スポーツの重要性に理解を示し積極的に取り入れようとしてくれるおばあちゃん校長先生や、女性のあなたからスポーツの素晴らしさを伝えて欲しい、スポーツの場面では性別は関係ない、と協力してくれるスーダン人男性コーチたちもおり、彼らのサポートのおかげでこのような活動ができています。これからも少しずつ活動をひろげ、誰でも当たり前にはスポーツができる環境づくりのお手伝いをしていきます。



ユースセンターにて。裸足、キーパーは手にサンダル！

4 スーダンの子どもたち

とても人懐っこく、外国人が気になってたまらないようで、積極的にはなしかけてくれたり、何か言いたそうに見つめられたり、二度見されたり、微笑んでくれたりします。

「ドラゴンボール」や「名探偵コナン」、「ナルト」など、日本のアニメも大人気で「おつかれさまで〜す」と日本語で声をかけられて驚いたこともあります。

大人と違って、気を使ってゆっくり喋ってくれるなんてことは皆無なので、容赦ないアラビア語に苦戦しつつ、小さな先生たちのおかげで少しずつ上達してきたように思います。

【ユースセンターに来るある子どもの1日】



昼食。数人で囲んで食べます。男女別

2018.02.28



千頭佐和子 (ちかみさわこ)

高知県高知市、1982年11月生まれの35歳。青年海外協力隊2017年2次隊、青少年活動。JFA公認サッカーC級コーチライセンス。アフリカ北部のナイル川の合流点に位置するスーダン共和国の首都ハルツームにて子どもたちへのスポーツ振興を行っている。高知の建設機械会社で11年間パンフレットやウェブサイトの作成、イベントの運営など広報業務に従事、平日の夜と週末はサッカー漬けの生活を送っていたが、アフリカへの憧れと長年の思いを捨てきれず、スーダンで人生初の一人暮らしを始める。